

6. 101系統から120系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
101	保土ヶ谷車庫前	洪福寺、桜木町駅前、元町、和田山口、間門	根岸駅前	保土ヶ谷 滝頭		B	リフト車運行
101系統 解説	旧市電の5系統の後を引き継ぐ路線です。保土ヶ谷車庫から根岸駅まで日中の所要時間は56分と割に距離の長い路線です。保土ヶ谷車庫を出て、峰小学校、洪福寺、浅間下で右折、高島町、桜木町駅、市庁前、元町、本牧を経て間門に至り、根岸駅まで行きます。旧市電時代は洪福寺から間門に至る路線で、当時は麦田町に路面電車の車庫がありました。麦田町に定期券売場があったのはその名残りでした。今でこそ石油コンビナートの立ち並ぶ根岸周辺ですが、かつては潮干狩りのできる海岸だったそうです。 担当営業所は長らく保土ヶ谷営業所、本牧営業所が担当していましたが以前は浅間町営業所も担当しており、「浅間町車庫前」行の区間便の設定がありました。また、本牧営業所については2007年3月18日で担当からはずれ、変わりに滝頭営業所が担当するようになりました。						
102	横浜駅前	浜松町、久保山、阪東橋、千歳橋	滝頭	滝頭		B	
102系統 解説	旧市電の7系統の後を引き継ぐ路線です。横浜駅東口から戸部、浜松町までは国道1号線を走ります。浜松町で左折し、藤棚、久保山、黄金町、浦舟町まで直進します。浦舟町で右折し、中村橋を経て滝頭が終点です。かつてはその先八幡橋を経由し、磯子警察署から滝頭車庫前(現:市電保存館前)まで行く便があったのですが、現在では滝頭発着に統一されています。						
103	本牧車庫前	旭台、山元町、日の出町1丁目、御所山	横浜駅前	本牧		IC	
	根岸台	旭台、山元町、日の出町1丁目、御所山	横浜駅前	本牧		B	深夜バス運行
103系統 解説	旧市電の3系統の後を引き継ぐ路線です。市電の最盛期には生麦から山元町を結んでいました。2002年2月までは表記の本牧営業所とともに生麦にある鶴見営業所がこの系統を担当していました。それは市電のかつての運行経路があるからだと思われます。山元町バス停付近の道路が少々広がっているのと、同バス停脇に定期券売場があるのはその名残りです(定期券売場は2001年3月で廃止)。横浜駅を出て戸部駅前で左折。御所山、日の出町1丁目、伊勢佐木町を経て山元町に至ります。山元町近くの打越橋は昔から絵になるポイントです。山元町で右折し、滝ノ上、旭台、本牧車庫への出入り便に限り、そこで左折して不動坂を下り本牧三溪園入口を経て本牧車庫へ行きます。それ以外は直進して根岸競馬場跡そばの根岸台が終点です。すぐそばは米軍住宅です。						
104	新横浜駅前	師岡、末吉、三ッ池道	鶴見駅西口	港北		B	14系統とあわせて頻度A
	新横浜駅前	港北区総合庁舎、師岡	梶山	港北		IC	
104系統 解説	新横浜駅と鶴見駅西口を結ぶ路線です。路線新設当時は鶴見駅東口発着でした。現在は14系統が一部新横浜駅からの発着になったので、14系統の子系統のような扱いになっています(14系統参照)。						
105	本牧車庫前	大鳥中学校前、和田山口、元町、市庁前	横浜駅前	本牧 浅間町		B	リフト車運行 深夜バス運行
105系統 解説	旧市電の2系統を引き継ぐ路線です。8系統、103系統と並んで、本牧営業所を代表する路線です。横浜駅から桜木町駅、尾上町通りを尾上町、市庁前、元町、本牧通りを本牧原まで走ります。本牧原で左折し、大鳥中学校を経て本牧車庫へ行きます。深夜バスは本牧原を直進し、三の谷、間門と進み、間門で左折の上産業道路経由で本牧車庫前まで行きます。						

6. 101系統から120系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
106	本牧車庫前	和田山口、元町、桜木町駅前、保土ヶ谷駅東口	境木中学校前	本牧 浅間町		B	リフト車運行
	本牧	本牧三溪園前、元町、桜木町駅前、保土ヶ谷駅東口	境木中学校前	本牧 浅間町		DC	平日の日中本牧発のみ運行
106系統解説	旧市電の4系統を引き継ぐ路線です。路線開設当時は境木中学校発でなく、国道1号線上の権太坂上が起終点で、境木団地(境木中学校)まで回送して折り返していました。境木中学校は戸塚区と保土ヶ谷区の境にあります。権太坂上からは保土ヶ谷駅、戸部駅、高島町と国道1号を上り、高島町で右折。桜木町駅、尾上町、元町、本牧、本牧三溪園を通り、本牧車庫に至ります。本牧車庫発は三溪園周辺のルートが若干異なります。三溪園の観光客対策のため、平日には本牧発で三溪園周辺を事実上循環して本牧原に出てくる便があります。全線で約1時間というロングラン路線です。						
107	洋光台駅前	萩台、上中里団地	洋光台駅	港南		C	一方循環 上中里団地周辺は100系統とあわせると頻度B 深夜バス運行
	港南車庫前	清水橋、港南台駅前、港南台第一中学校前	洋光台駅	港南		IC	港南車庫～港南台駅間の運行もあり
107系統解説	元々は港南区と磯子区、金沢区を結ぶ路線でした。新設当初は113系統を名乗っていたそうなのですが、現在の113系統を旧市電13系統の代替系統として使用するために、113系統に変更されました。最初にできた路線が洋光台駅～田中～栗木町～氷取沢間の運行でした。その後洋光台駅からの上中里団地循環線ができ、また最初に運行開始した路線は金沢文庫駅及び港南車庫前へ延伸しました。上中里団地循環線は洋光台駅を出た後、萩台のトンネルを抜けて栗木町に向かうので、金沢文庫駅系統とは経由地が大きく異なっていました。港南車庫前～金沢文庫駅西口系統は2006年11月に路線分断の上、洋光台駅～金沢文庫駅西間は京浜急行バスに移譲されました。						
108							
108系統解説	108系統は2代存在し、初代の108系統は横浜駅西口から三ツ沢経由の新横浜駅行きとして運行されていました。市営地下鉄の新横浜延伸後もしばらく存続していましたが、廃止となりました。廃止前は1時間に1本の運行という寂しい路線でした。そして、昭和62年10月に2代目の108系統として桜木町駅から本牧を経由して市電保存館に向かう路線が運行を開始しました。当初は薩摩町経由でしたが、都心循環バス廃止時に山下町経由になりました。新設当初は本数は少ない(1時間に1本程度)ものの1日中運行する路線でしたが、路線のほとんどを99系統と併走することなどから減便され、結局2006年3月に廃止となりました。廃止時は平日の日中のみ(1日7本)の運行となっていました。						
	桜木町駅前	山下ふ頭入口、(ベイブリッジ)、L8パース	スカイウォーク前	鶴見		C	高速料金必要・休日運休 原則専用車による運行
	桜木町駅前	山下ふ頭入口、(ベイブリッジ)、大黒海づり公園	スカイウォーク前	鶴見		C	高速料金必要 原則専用車による運行
	桜木町駅	山下ふ頭入口、(ベイブリッジ)	スカイウォーク前	鶴見		C	高速料金必要 原則専用車による運行

6. 101系統から120系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
109	横浜駅西口	(ベイブリッジ)、L8バース	スカイウォーク前	鶴見		MB EC	高速料金必要・休日運休 原則専用車による運行 土曜日は昼に3本の運行あり
	横浜駅西口	(ベイブリッジ)	スカイウォーク前	鶴見		MB EC	高速料金必要・休日運休 原則専用車による運行 土曜日は昼に3本の運行あり
	横浜駅東口	桜木町駅、山下ふ頭入口、(ベイブリッジ)	スカイウォーク前	鶴見		MC EC	高速料金必要 休日のみ1往復運行 原則専用車による運行
109系統 解説	こちら2代目で、初代は弘明寺から洋光台駅という路線で、上大岡駅から洋光台駅間は江ノ電バスと併走する路線でした。その為、一部区間で急行運転をする路線でした。本数も非常に少なく、特に弘明寺からの便は1日数本しかありませんでした。現在の109系統はベイブリッジの開通にあわせて新設された路線です。当初は観光客輸送をメインとし、路線も海岸通りを大榎橋方面経由で運行されていました。ベイブリッジがブームの頃は乗り切れなかったりして臨時便を増発するなどいろいろと行われていましたが、最近ではそれも落ち着き、現在では観光客輸送よりも大黒ふ頭地区の通勤輸送などに比重をおいています。そのために横浜駅西口から直行で大黒ふ頭に行く便などが新設されています。横浜駅東口へ行く便は路線の設定当初は30分に1本の割合で運転していたのですが、ブームの低下にあわせて現在では横浜駅を休日の朝、スカイウォークを同じく休日の夜それぞれ1本ずつの運行になっています。						
110							
110系統 解説	横浜駅と磯子の先の杉田地区を結ぶ路線バスでしたが、全線を京浜急行バスと乗り入れを行っていることから移譲対象路線となり、2006年3月15日の運行をもって市営バスは廃止となりました。ずっと以前は4系統が横浜駅と六浦(現在は追浜天神橋)を結んでいたため、それを分割した路線でした。						
111	上大岡駅前	日野中央公園入口、洋光台駅前、港南台第一中学校前	港南台駅前	港南		B	リフト車運行
111系統 解説	上大岡駅と洋光台駅、港南台駅を結ぶ路線です。上大岡駅を出てしばらくは鎌倉街道を走り、日野中央公園入口から洋光台駅に行きます。洋光台からは港南台第1小学校、港南環境センターを経て港南台駅に着きます。以前は港南台駅から港南車庫に行く路線出入り路線がありましたが、107系統に変更されました。						
112	上永谷駅前	すずかけ通、日野橋、日野中央公園入口	洋光台駅前	港南		C	
	野庭中央公園	すずかけ通、日野橋、日野中央公園入口	洋光台駅前	港南		IC	
	洋光台駅前	日野中央公園入口、清水橋	港南車庫前	港南		IC	
112系統 解説	上永谷駅から洋光台駅をショートカットで結ぶ路線です。同じ区間を45系統が路線を持っていますが、112系統は野庭団地周辺を通ると日野中央公園入口方面に出て洋光台駅に向かいます。本数は少な目です。洋光台駅から港南車庫に行く路線は出入り線です。						

6. 101系統から120系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
113	磯子車庫前	滝頭、吉野町駅前、羽衣町	桜木町駅前	磯子 滝頭		C	滝頭担当は平日・土曜日の桜木町駅前発始発便の滝頭行のみ
113系統解説	107系統の説明にあるとおり、最初は現在の107系統がこの番号を名乗っていたのですが、市電全廃の際に最後まで残った13系統の代替バスとしてこの系統番号は転用されました。旧市電13系統は元々は杉田～横浜駅を結ぶ路線でしたが、最終的には芦名橋～桜木町駅となりました。睦橋～阪東橋間は元々は吉野町経由でしたが、市電廃止・地下鉄建設計画の影響で市電廃止時は千歳橋～浦舟町経由で運行されていました。113系統は区間は市電廃止時に近いものになっていますが、途中経由地は吉野町回りとなっています。桜木町駅を出て、本町4丁目で右折。羽衣町、阪東橋、吉野町駅まで鎌倉街道を走ります。吉野町駅で左折し、中村橋、滝頭、八幡橋、を経て磯子車庫まで行きます。平日と土曜日の桜木町駅発の始発便は滝頭止まりです。この便だけ滝頭営業所の車両が担当しています。滝頭営業所の車両の車内路線図には113系統の案内はなく、同営業所の車両にとっては幻の路線となっています。						
114	横浜駅西口	三ツ沢グランド、松本、神奈川区総合庁舎	東神奈川駅西口	浅間町		DC	東神奈川駅行きのみ市民病院を経由
114系統解説	横浜駅とお隣東神奈川駅を結ぶ路線です。岡野町から浅間下、三ツ沢グランドと来ます。横浜駅西口発のみ87系統と同じルートで市民病院に立ち寄り、市民病院脇の坂を下り、以降は三ツ沢上町駅、松本、神奈川区総合庁舎を経て東神奈川駅西口に至ります。神奈川区総合庁舎(区役所)対策用の路線と言うことで、平日日中8本のための運行となっています。						
115	鶴ヶ峰駅	今宿、下宿、大貫橋、若葉台近隣公園	若葉台中央	若葉台 保土ヶ谷	神奈中	C	特殊運賃制
	鶴ヶ峰駅	鶴ヶ峰中学校、グリーンヒル上白根	鶴ヶ峰駅	若葉台	神奈中	C	一方循環
115系統解説	若葉台中央～鶴ヶ峰駅を結ぶ路線です。5系統の関連系統として誕生しましたが、5系統に若葉台中央線が出来たため、現在ではあまり見ることが出来なくなりました。グリーンヒル上白根線は新設後、若干の経路変更などが行われて現在の路線形態になっています。本数はあまりありません。						
116	三ツ境駅	程ヶ谷カントリークラブ、亀甲山、若葉台近隣公園前	若葉台中央	若葉台	相鉄 神奈中	B	特殊運賃制 頻度は2つと相鉄・神奈中バスを含めるとA
	三ツ境駅	程ヶ谷カントリークラブ、亀甲山、地区公園前	若葉台中央	若葉台	相鉄 神奈中	C	
116系統解説	若葉台中央と相鉄線の三ツ境駅を結ぶ路線です。距離は比較的短いのですが、乗客の多い路線です。若葉台中央から大貫橋、亀甲山へ出ます。ここで国道16号線の新道に入り、東根で右折。程ヶ谷カントリークラブ、西部病院を経て三ツ境駅に至ります。						
117	新杉田駅前	南部市場前、幸浦1丁目	三菱金沢工場前	磯子		C	休日、年末年始運休 土曜日は朝夕のみの運行
117系統解説	新杉田駅と金沢区の並木地区にある三菱金沢工場を結ぶ路線です。かつては金沢シーサイドラインに平行する形で新杉田駅～金沢工業団地という路線もありましたが、シーサイドラインの開業と同時に廃止となりました。新杉田駅から幸浦1丁目までは国道357号線を通り、幸浦1丁目で左折し、三菱金沢工場に至ります。						
118							

6. 101系統から120系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
118系統 解説	青葉台駅とこどもの国の先の奈良北団地を結ぶ路線でした。青葉台駅からなら北団地へはかつては田奈駅経由の6系統、松風台経由の(旧)120系統とこの118系統でしたが、2007年3月16にちから東急バスに移譲され、市営バスは廃止となりました。青葉台駅から桂台、田奈高校、こどもの国入口、奈良町を経由して奈良北団地折返場が終点でした。緑山循環線は奈良町から先、緑山地区を循環して青葉台駅に戻ります。緑山はTBSのスタジオの脇を通り、時には屋外のセットなどを見ることも出来る路線でした。						
119	鴨居駅前	新井町、千丸台団地、白山高校	鴨居駅前	緑	神奈中	C	深夜バス運行
	鴨居駅前	新井町、西谷駅前、上星川	峰小学校前	緑	神奈中	DC	休日運休 深夜バス運行
119系統 解説	当初、鴨居駅と千丸台団地、白山高校周辺を結ぶ循環線として開設されました。本数は少ないですが、これによって千丸台団地から鉄道の駅へ行くルートが増えました。その後、鴨居駅から新井町、西谷、梅の木、上星川を経て峰小学校前に至る路線が出来ました。峰小学校に着いた市営バスは保土ヶ谷車庫に回送され、そこで折り返します。終点が保土ヶ谷車庫ではなく、峰小学校なのは神奈中バスと乗り入れをしている関係からだと思われます。						
120	菅田町	西菅田団地、港神境	新横浜駅前	緑		DC	
120系統 解説	12系統、36系統再編時に新横浜駅と菅田町地区を結ぶ路線として開設されました。よくよく地図などを見てみると、今までなぜこういう路線が出来なかったのかが不思議なぐらいの路線です。しかし、現時点では実験的な要素が強いのか日中を中心とした運行になっています。菅田町から一度西菅田団地に立ち寄り、菅田町入口まで行き、そこで左折して新横浜駅まで走ります。						